

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	2-1-1	2-3-1	事業名	福祉のまち推進事業														
担当	保健福祉局総務部総務課 井上 (211-2932)																	
全体計画（当初）																		
事業内容	市民と行政が協力し、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりをめざし、各区社会福祉協議会(以下「区社協」)単位に「区福祉のまち推進センター」(以下「区福まちセンター」)を、おおむね連合町内会の区域ごとに「地区福祉のまち推進センター」(以下「地区福まちセンター」)を設置している。本事業の活性化に向けて、「活動拠点づくり」、「活性化支援モデル事業」、「地域福祉のネットワーク構築」の3事業を推進し、区福まちセンターでは、ボランティアの振興や地区福まちセンターに対する支援を行い、地区福まちセンターでは、ひとり暮らし高齢者などへの安否確認や交流会活動など、地域住民による支え合い活動を行っている。これらの活動及び地区福まちセンターの活動拠点施設整備にかかる経費に対し、区社協へ補助金を交付している。また、札幌市社会福祉協議会においては、本事業の総合的支援として、「事業型社協推進事業」を実施し、活動マニュアルの作成や全市レベルの活動交換会の開催等により、事業推進を図っている。		<年度別の事業内容>															
			地区拠点設置数の拡大を図る ・平成16年度 52地区 ・平成17年度 56地区 ・平成18年度 60地区															
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）															
	補助金の交付により、各区社会福祉協議会、各地区福祉のまち推進センターは主に以下の事業を行った。 1 区福祉のまち推進センター活動事業 (1) 区福祉のまち推進センター活動事業 (2) 福祉のまち推進グループ活動事業 (3) ボランティア等の啓発・普及事業 (4) ボランティア研修事業 (5) 地域福祉に関する調査・研究事業 (6) その他地域福祉推進事業 2 地区福祉のまち推進センター活動支援事業 地区福祉のまち推進センターを設置する地区社協に対し、活動に対する支援を目的として、運営及び活動・施設の借り上げ、備品等に係る経費の助成を行った。 ・活動費助成 88地区 ・借り上げ料助成 16地区 ・備品整備費助成(新規) 4地区 ・地区拠点スペース設置数 52地区		補助金の交付により、各区社会福祉協議会、各地区福祉のまち推進センターは主に以下の事業を行った。 1 区福祉のまち推進センター活動事業 平成16年度と同じ 2 地区福祉のまち推進センター活動支援事業 平成16年度と同じ。地区数は以下のとおり。 ・活動費助成 88地区 ・借り上げ料助成 17地区 ・備品整備費助成(新規) 2地区 ・地区拠点スペース設置数 54地区															
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）															
	補助金の交付により、各区社会福祉協議会、各地区福祉のまち推進センターで以下の事業を行った。 1 区福祉のまち推進センター活動事業 平成16、17年度と同じ 2 地区福祉のまち推進センター活動支援事業 ・活動費助成 88地区 ・借り上げ料助成 19地区 ・備品整備費助成(新規) 5地区 ・地区拠点スペース設置数 58地区 機能強化費の新設 地区福祉のまち推進センターの活動状況が多様化してきていることを踏まえ、地域の状況に応じていっそう柔軟に展開していく必要がある。このことから、活動実態や地区の規模を反映させ、活性化に向けた効果的な助成を行うことを目的とした「機能強化費」を新設し、地域の支えあい活動のためにモデル的の事業を行う地区や世帯規模が一定規模以上の地区に対して、加算して助成を行うこととした。		・地域の中で、福祉に対する理解の進展と多くの住民の福祉活動への参加。 ・地域における福祉活動の活発化。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>活動の内容</th> <th>15年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉推進員数</td> <td>5,923名</td> <td>6,162名</td> </tr> <tr> <td>訪問活動</td> <td>67地区</td> <td>72地区</td> </tr> <tr> <td>高齢者サロン</td> <td>34地区</td> <td>43地区</td> </tr> <tr> <td>子育てサロン</td> <td>36地区</td> <td>58地区</td> </tr> </tbody> </table> 上記表のとおり、活動者(福祉推進員)の人数や主な活動の実施地区は増加しており、各地区での福まち活動は、拡がりをみせている。		活動の内容	15年度	17年度	福祉推進員数	5,923名	6,162名	訪問活動	67地区	72地区	高齢者サロン	34地区	43地区	子育てサロン	36地区
活動の内容	15年度	17年度																
福祉推進員数	5,923名	6,162名																
訪問活動	67地区	72地区																
高齢者サロン	34地区	43地区																
子育てサロン	36地区	58地区																
課題																		
・地域の担い手である福祉推進員のすそ野の拡大 ・介護予防などの新たなニーズへの対応 ・地域の課題にきめ細かに支援・アドバイス等を行う区役所、区社会福祉協議会の連携の強化																		
19年度以降の方向性・事業の予定																		
団塊世代退職者の地域での活動の場の提供や介護予防などの新たなニーズへの対応など今日的な課題や地域事情を踏まえ、活動が一層行いやすい環境整備のための方策等を検討することにより、福祉のまち推進事業の更なる展開を推進する。																		

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 事業総括調書 (単位:千円)

施策体系コード		2-1-1	2-3-1	事業名	福祉のまち推進事業				
事業費の推移									
項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)			
計画	事業費	80,224	82,224	83,552	246,000	-			
	財源内訳	国・道支出金			0	-			
		市債				0	-		
	その他	23,620	23,620	23,620	70,860	-			
	一般財源	56,604	58,604	59,932	175,140	-			
実績	事業費	78,474	78,662	81,768	238,904	97.1			
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	-		
		市債	0	0	0	0	-		
	その他	26,578	29,906	36,245	92,729	-			
	一般財源	51,896	48,756	45,523	146,175	-			
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)									
[全体][16年度][17年度][18年度][17年度] 拠点スペースについては、地区で拠点確保の準備が整わなかったことから、当初の予定より設置数が下回った。									
主な施設、サービス等の整備水準									
項目		15年度末 (現状)	16年度末 (実績)	17年度末 (実績)	18年度末 (実績)	18年度末 (目標)			
地区拠点設置数		48	52	54	58	60			
関連予算事業内訳									
予算事業名(小事業名)				経・臨 経常	枠内外 枠内	16年度	17年度	18年度	計
福祉のまち推進センター補助金						78,474	78,662	81,768	238,904
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
計						78,474	78,662	81,768	238,904